



蒲田ファミリーフェスティバル4年ぶり開催で自衛隊をアピール！



自衛隊東京地方協力本部大田出張所（所長 田中 1海尉）は、5月5日、JR蒲田駅周辺において開催された、「2023蒲田ファミリーフェスティバル」に参加した。

本イベントは、地元蒲田の各商店街主催により5月3日から5日間行われ、来場者が約2万人と盛況な中、大田出張所は広報ブースを開設し、自衛隊の魅力をアピールした。

自衛隊ブースでは、第一普通科連隊の支援を受けた装備品展示（軽装甲機動車、偵察用オートバイ）、自衛隊なんでも相談コーナー、制服試着コーナーを設置した。制服に着替えた来場者が、装備品をバックに隊員と一緒に撮影するため、常に長蛇の列となっていた。

また、メインステージでは、今回初めて出演した第一普通科連隊のらっぽ手による演奏が披露されると、会場は大いに盛り上がり、観客から多くの拍手が送られていた。

来場者からは「地震など災害派遣お疲れ様です。これからも頑張ってください」という感謝の声や、相談コーナーで防衛医科大学校の話聞いた方からは「防衛医大は学費も食事代もかからない上に手当てまでいただけるんですね！」と驚きの声も聞かれた。

大田出張所は今後もより多くの方に自衛隊の活動等について理解を深めてもらえるよう積極的に広報活動を実施していくものとしている。



城北地区隊としてGW部隊見学イベントを開催



自衛隊東京地方協力本部城北地区隊（隊長 小竹2陸佐）は5月5日、朝霞駐屯地においてゴールデンウィーク部隊見学イベントを開催した。

本イベントは、城北地区隊各所が掌握する募集対象者に対して陸上自衛隊を深く知ってもらい受験意欲の向上を図るために実施したもので、約10名の対象者が参加した。

当日は昼過ぎに朝霞駐屯地に集合し、隊長による陸上自衛隊の現況を踏まえた概要説明、第2整備大隊偵察戦闘直接支援隊による重装輪回収車の説明、施設装備品の展示見学、広報官によるロープワークや手旗指導の後、朝霞訓練場に移動して第335高射直接支援中隊によるブリーフィングを受け03式中距離地对空誘導弾の展示を見学した。

特にロープワーク指導では広報官がもやい結び等のロープワークを丁寧に指導し、練度確認として参加者で競争するなど和気藹々とした雰囲気となった。また、地对空誘導弾の展示では普段は見ることが難しい射撃体勢への可動展示を見学することができ、参加者からは「うわぁ」との感嘆の声が聞こえた。

城北地区隊は、今後も募集対象者への丁寧な広報を実施することにより、防衛省・自衛隊に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋がっていきたくしている。